

2学年だより

令和5年7月18日
荒川区立第五中学校
第二学年 第56号

仕事の楽しさ・大変さ を味わった 勤労留学！！

7月3日(月)～7日(金)までに行われた勤労留学が終了しました。仕事の大変さを実際に感じる事ができ、その一方で仕事の楽しさややりがいを感じることもできたのではないのでしょうか。学校生活ではなかなか味わえない、大変、貴重な5日間となりました。

毎日、実習後はいったん、学校に戻り、報告をしてからの下校でした。勤労体験をした初日はさすがに緊張したようで、疲れた様子の方が多かったです。

2日目からは、だんだん仕事の大変さが分かってきたようです。一日中、立ちっぱなしのこともあったようで、体力的にも精神的にも疲れたようでした。

3日目には仕事にも職場の方々にも慣れ、仕事をする楽しさを味わえるようになってきました。くたくたになりながらも、やりがいを感じられるようになったようです。先生方が事業所を訪問しても、元気に笑顔で仕事に取り組む姿が見られました。事業所の方からも「頑張っていますよ」「よくやってくれます」とお褒めの言葉をいただき、一安心！！

最終日の7日(金)にはお世話になった事業所への感謝の気持ちを込めてお礼状を書き、届けて勤労留学を終えました。

「勤労留学、楽しかったな」「大変だったな」と思い出すだけでなく、学んできたこと、感じたことなど勤労留学でのことを整理しましょう。勤労留学のまとめを終えた今、もう一度、自分の普段の学校生活を見つめなおし、「これから社会に出るにあたって、今の自分に足りない力は何か」を考え、「その力をつけるために、今できること」を頑張っていきましょう。本当の目的である自分の将来について真剣に考える機会にしてください。

さあ、夏休みが始まります。“なんとなく”時間が過ぎてしまわぬよう、学習計画を立て、将来に向けた“土台作り”のために一日一日を、積極的かつ大切に過ごしてほしいです。



荒川総合スポーツセンター

《生徒感想文》

撮影のキュー出しの仕方やロケの見学、映像の編集の仕方など、様々な体験をさせていただき、テレビ関係の仕事について知ることができました。働くことは「人の役に立てるすばらしいこと」だと考えが変わりました。今後の学校生活や進路について考える時に、今回の経験を活かしていきたいです。(荒川ケーブルテレビ・〇〇 〇〇)

ロープワークやもやい結びなど難しく、なかなか覚えられなかったけれど、珍しい体験がたくさんできてよかったです。働くことはとても厳しく、辛いものばかりかと思っていたけれど、楽しいこともあるのだなと感じました。勤労留学を終えた今、消防署で働いてみたいと少し思うようになりました。(尾久消防署・〇〇 〇)

ご利用者さんからお礼を言われたり、話しかけてくださったりして、とても嬉しかったです。しかし、仕事が重なったときに効率よくできなかつたり、コミュニケーションを取ることがうまくいかず、残念でした。誰かのために働くことの大切さ、働くことは自分の成長にも繋がることを学びました。ご指導を受けた経験を将来の仕事に活かしていきたいです。(ケア・プランニング・〇〇 〇〇)

子供と触れ合えたことが嬉しかったです。しかし、子供同士がケンカをして、どう対応したらよいかかわからず、困りました。勤労留学に行く前は「働く」ことはお金を稼ぐことしか考えていなかったけれど、実際に体験して大変なこともあるが、やりがいもあるのだなと思いました。勤労留学を終えた今、将来に向けて、しっかり勉強していこうと思います。(花ノ木ひろば館・〇〇 〇〇)

ご利用者さんと話すことでコミュニケーション能力が上がったように感じます。ハンドベル演奏をした時にご利用者さんが感動してくれてとても嬉しかったです。体験をするまでは、「働く」ことはお金を稼ぐためだと思っていましたが、それだけでなく、人の役に立つのだなと思いました。(町屋在宅高齢者通所サービスセンター・〇〇 〇〇〇)

受付の仕事は覚えることが多くて大変でしたが、「仕事できるね」と事業所の方にほめてもらい、嬉しかったです。「働く」ことはお金を稼ぐことだけではなく、まずはお客様第一に考えることが大事なのだなと思いました。また、笑顔で話を聞くなど、「笑顔」がとても大切だということも学んだので、面接などで活かしたいです。(荒川総合スポーツセンター・〇〇 〇〇〇)

お店の方がとても優しい方ばかりで、楽しく働くことができました。オムライスを上手く作れず、難しいなあと感じました。また、お店の方から責任について教えてもらったので、責任のもてる行動を取りたいと思いました。(ペンザンス絆・〇〇 〇〇)



ペンザンス 絆



町屋在宅高齢者通所サービスセンター